



秋田県内議会トップ10を公開 1位は湯沢市議会
2位以下は総合順位トップ300に届かず
「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月13日、2017年度「議会改革度調査」の秋田県内ランキング上位を公開しました。

1位は湯沢市、2位は横手市、3位は秋田県でしたが、2位以下は全国トップ300に届かない結果となりました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>



▼秋田県内の議会ランキングTOP10

※総合順位の300位以下、前年未回答は「-」と表記。 ※秋田県内は19議会が回答（回答率75%）

順位	議会名	総合順位	前年比
1	湯沢市議会	295	-125
2	横手市議会	-	-
3	秋田県議会	-	-
4	鹿角市議会	-	-
5	秋田市議会	-	-
6	由利本荘市議会	-	-
7	大仙市議会	-	-
8	にかほ市議会	-	-
9	仙北市議会	-	-
10	男鹿市議会	-	-

■TOP3議会、注目議会の特徴

- ・ 1位【湯沢市議会】議会基本条例をもとに実行計画を作成。議会基本条例は4年に1度検証している。開かれた議会を目指し、各テーマを設けた議会報告会を4班にわかれて実施している。
- ・ 2位【横手市議会】タブレット端末導入以降、ペーパーレス化に取り組み、ペーパーレス化率（紙の削減率）が会議ベースで約95%となった。市議会紹介番組「もっと教えて！横手市議会」も放送。
- ・ 3位【秋田県議会】過去2年間で「秋田県木材利用促進条例」「秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例」を議員提案で制定。子ども連れの傍聴も可能にした。
- ・ 4位【鹿角市議会】議会基本条例、政治倫理条例を制定している。「鹿角の医療について」をテーマに「市民と語る会」を4カ所で開催。告知に際しては、コミュニティFMを活用した。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

（回答率74%）。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>